

改善計画書

施策番号	担当部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)	
32420	まちづくり事業部	駐車場対策課	副主幹	高本 辰彦	042-769-8258	
施策名	自転車駐車対策の推進					
施策の目的	最も身近な近距離交通手段であり、自然環境にやさしい乗り物である自転車の適正な利用を促すため、自転車駐車場の確保によって駅周辺の自転車利用環境を整えるとともに、自転車利用の増加に伴い深刻化する放置自転車問題の解決に向け、駅周辺の道路や広場など公共の場所を自転車等放置禁止区域に指定するなど放置自転車対策に取り組み、良好で安全な歩行者等の通行空間の確保を図る。					
これまでの取組	<p>放置自転車の移動(撤去)の強化 H17:19005台撤去(355回)、H18:24633台(394回)撤去の結果、 放置自転車台数(主要7駅平日午後1日あたり)H17 H18 3734台 2865台(23%減) 路上等自転車駐車場の設置 H17:4箇所、H18:1箇所 設置台数:414台、H18年度の利用者数33万人、1日平均約2.3回転 相模大野駅北口コリドー街放置自転車対策の強化 H19.3月~4月 地域・警察と連携し、連続撤去の実施、職員による街頭での指導・啓発等を実施(約1か月) コリドー街の放置自転車:平日午後約600~700台・土休日午後約1000台 ほぼ解消</p>					
評価結果 (平成17年度 実績評価)	1次評価	B	2次評価	B	3次評価	B
	3次評価での指摘事項等及び意見 (は行政評価検討委員会としての指摘事項・改善要望項目、 は各委員の意見)					
	<p>指標1(放置自転車台数)については、満足度を高める上でも更に事業効率・効果を高め、目標値の上方修正を行うこと。 不満の理由を分析した上で、ハード面だけでなく、ソフト面についても具体的な事業を検討し、充実を図ること。</p> <p>満足度調査の結果からは、重要な施策と考えられることから、意識啓発 環境整備 罰則規定などを検討しても良いのではないかと。 市民の意識がかなり低いと考えられる。抜本的解決のためには、もっと大きな視点で施策展開する必要があるのではないかと。 市民が求めている満足感や不満の理由が不明確であるならば、課題にある市民意識が低いとは言えないはずである。分析を行った上で、ハード面ではなくソフト面の充実を図るべきではないかと。</p>					
3次評価の指摘事項を踏まえた課題整理	<p>指標1(放置自転車台数)については、満足度を高めるため、目標値の上方修正を行う。 不満の理由を分析し、ハード面だけでなく、ソフト面についても具体的な事業を検討し、充実を図る。</p>					

改善計画	改善目標及び改善時期	平成19年度の指標1(放置自転車台数)の目標値を「前年度比4.5%減」から「前年度比10%減」とする。 平成19年度中に、満足度調査の不満の理由を分析するとともに、自転車駐車場利用者や放置している者へのアンケート調査を実施する。	
	具体的な改善方策	「放置自転車の削減」 指標1(放置自転車台数)の目標値「前年度比10%減」達成に向け、 ・放置自転車の移動(撤去)の強化・重点化 ・放置が多い箇所などへの路上等自転車駐車場の設置 ・自転車等放置禁止区域のわかりやすい表示の充実 を実施する。 効果的な自転車対策の検討に向けた「アンケート調査の実施」 橋本駅周辺をモデルとした自転車利用者へのアンケート調査の実施	
	実施の時期	平成19年度末までに	
	改善項目「放置自転車の削減」	・放置自転車の移動(撤去)の強化・重点化 市内で最も放置自転車が多い相模大野駅北口周辺、次いで多い橋本駅北口周辺の撤去等の対策を強化・重点化する。 H19.4 相模大野駅北口周辺での連続撤去 H19.11 橋本駅北口周辺での連続撤去 ・放置が多い箇所などへの路上等自転車駐車場の設置 H19.3 相模大野駅北口第3路上等自転車駐車場(128台) H19.11 橋本駅北口路上等自転車駐車場(100台) ・自転車等放置禁止区域のわかりやすい表示の充実 H19.8 自転車等放置禁止区域の表示シートの路面への敷設(45枚)	
改善結果	実施の時期	平成19年度末までに	
	改善項目「アンケート調査の実施」	財団法人自転車駐車場整備センター等に協力し、橋本駅周辺をモデルとした自転車利用者へのアンケート調査の実施 H19.9 アンケート調査実施 H19.10~12 結果集計・分析 H20.1~ 市民満足度調査の結果分析も踏まえたより効果的な自転車対策の検討	
	改善目標の達成状況		
評価及び今後の取組方針等			